

いかだづくり・遊び

＜移動前＞



玄関前に荷物(タオル、靴等)を持って集合。荷物はこの場所に一時的に置く。

ライフジャケット小屋前に再集合。



職員からライフジャケットの説明。



引率の先生方がライフジャケットを配布。



職員はタイヤチューブを貸出。



玄関前に再集合。



荷物を持ち、種差漁港に向けて出発。

〈漁港到着〉



タイヤチューブをまとめておく。

ブルーシートをひき荷物を置く。



職員からいかだの組立方法の説明。



材料の貸し出し。
長い棒×3、短い棒×4、座板×3。長い棒は前後を二人で持つようにすると、より安全。



組み立て開始。

できあがったら裏返しておく。



11時過ぎになったら、浜カレーの準備のため、食事係と職員でテーブルを出す。
11時15分になったら、作業をやめ、手洗いをすませて集合。
11時30分より浜カレーの説明開始。

＜浜へ移動＞

休憩後、再集合し、ライフジャケットの装着確認と、オールの使い方の説明を行った後、オールを貸し出し、浜へ移動。



手すりやガードレールを乗り越える場合には引率の先生方がついて安全確保。

＜いかだ遊びの注意点＞

- ・乗り降りするときは乗らない人が必ず押さえる。
- ・前の人からいかだの乗り降りする。
- ・場所を移動しない&いかだに立たない。
- ・石や貝で足を切るのを靴を脱がない。
- ・遊泳禁止。

＜いかだ遊び後＞

オールを海水で洗う。



いかだを協力して運び、組み立てた場所で解体する。



いかだ片づけ中に、同時進行でトイレ掃除。



掃除道具はスーパーハウスにあり。



借りたものを返し、無線で連絡した後、荷物とタイヤチューブを持ち、自然の家へ移動。

〈自然の家到着後〉

タイヤチューブを返却し、ライフジャケットを水道に溜めてある水に3回つけて洗い、外のハンガーに干す。



玄関前の水槽で靴を3回つけて洗い、そのまま裸足で持って行き、所定の場所に置く。



玄関前水道に裸足のまま戻ってきて、足をしっかりこすって洗う。

晴天時の濡れたくつを置く場所。



雨天時の濡れたくつを置く場所。



足を洗ったら緑の人工芝(素足用)の上を歩き、足ふきタオル(貸出)で足の水気をとって館内に入る。

ライフジャケットは外のハンガーに干して水気を落としているので、夕食前などの余裕がある時間に、引率者と参加者でライフジャケット小屋内に収納する。

濡れた荷物は袋に入れていても結露するので、畳の上やベッドではなく部屋の靴を脱ぐ場所(コンクリート)に置く。